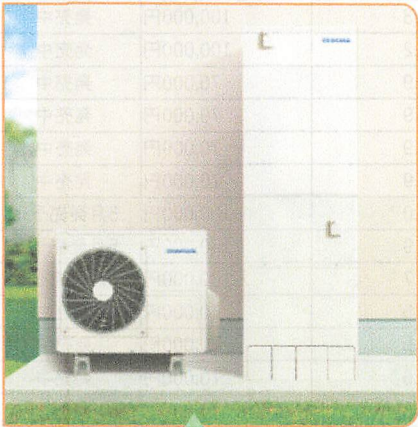


速報！給湯省エネ2026事業

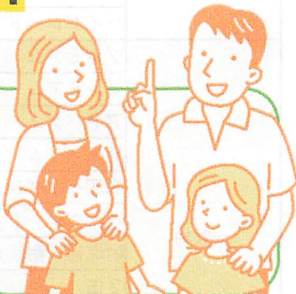
エコキュートの導入または入替で
最大12万円/台の補助金が受けられます。



さらに、エコキュート導入と同時に
電気温水器や蓄熱暖房機を撤去すると
追加の補助が受けられます！

※2026年4月1日 時点の情報です。内容が変更になる可能性があります。

高性能タイプや高圧力タイプ
マイクロバブルエコキュートまで、
幅広く補助金対象機種をご用意しており
ますので是非この機会にご検討ください。



エコキュートの性能・機能により、補助金額が変わります。

性能要件を満たした場合の補助額: 7万円/台

トップランナー基準以上の機器であり、インターネットに接続可能で、昼間の余剰再エネ電気を活用できる機種、
又は、おひさまエコキュート

性能加算要件を満たした場合の補助額（加算額）: 3万円/台

基本の性能要件の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ないもので、2025年度の目標基準値（JIS C 9220 年間給湯保温効率又は年間給湯効率（寒冷地含む））+0.2以上の性能値を有するもの。

さらに！
エコキュート
導入と同時に

電気温水器の撤去で2万円/台・蓄熱暖房機の撤去で4万円/台
（高効率導入により、補助を受ける台数まで）
の補助金が追加で加算されます！
（上限2台まで）

■エコキュートの省エネ基準

2025年度目標の区分					2025年度 目標基準値
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	
A	少人数	—	—	一般地	3.0
B				寒冷地	2.7
C	標準	一缶	320L未満	一般地	3.1
D				寒冷地	2.7
E			320L以上 550L未満	一般地	3.5
F				寒冷地	2.9

2025年度目標の区分					2025年度 目標基準値
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	
G	標準	一缶	550L以上	一般地	3.2
H				寒冷地	2.7
I		多缶	—	一般地	3.0
J				寒冷地	2.7

※補助金対象となる詳しい型式は、裏面をご覧ください。

<参考>

「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業」は、高効率給湯器の導入支援を行い、その普及拡大により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」の達成に寄与することを目的とした事業です。この度、その後継事業が発表されました。